

# 封腐愛



R-18  
Adult only

青娥様ーっ

お食事をお届けに  
ありがとうございましたーっ

それに、こんなに  
豪華なお食事・  
ご用意するの  
大変じゃないかしら？

仙人は粗食でも  
十分ですのに・

いえ、とんでも  
ありませんっ

仙女様のお食事に  
手を抜くようなことなど  
あつてはなりませんよ

あら、「苦労様」

こんな辺鄙なとこまで、  
来てくださって  
ありがとうございます♪

私はしがない料理人ですが、  
いつも業者から極上の素材を  
取り揃えております

青娥様に美味しいと  
言っていただけなのが、  
私の一番の喜び  
ですよ！

ええ・

私もこんなに素敵な  
御馳走をいただけ、  
とても嬉しいわ・

本っ当に  
美味しそっ・

へっ  
ろっ





私はさっきまで  
青娥様にお食事を  
運んでいたのに...

っ縛られて...!  
いったい何が起ったと  
いうんだっ!?



...はっ



気が付かれた  
かしら?

あら、何も無い部屋で  
ごめんなさいね

!?

ここはいつたい  
どこだろう...  
ずいぶんと質素な  
部屋だが...

せ、  
青娥様!?

ふあっ



私には妻と娘が・・・

知っておりますわ、  
人里にご家族が  
いらつしやるのでしょうか？

お忘れですか？  
私は仙人  
なのですよ？

きゅん

きゅん

きゅん

きゅん

仙人の術で操られて  
仕方なく、といえは  
ご家族も文句は言えませんわ

ぐんぐん

むしちゅん





どうですか？  
奥様のお胸に挟まれるのと  
どちらが気持ちいいですか？

・・・あら、奥様は  
胸はあまり大きくないの  
ですか？

え・  
いや・  
・  
・

むにゅ



もにゅ

ふふっなんだか  
嬉しかったみたいです♪

ぽろっ



ぐあ  
う・  
・  
・  
っ

(ならせつかくの  
機会ですから)  
ひはれふから、  
おっひなおっはい、  
いっはい味わって  
ひっはいあひわって  
くださいね・  
っ

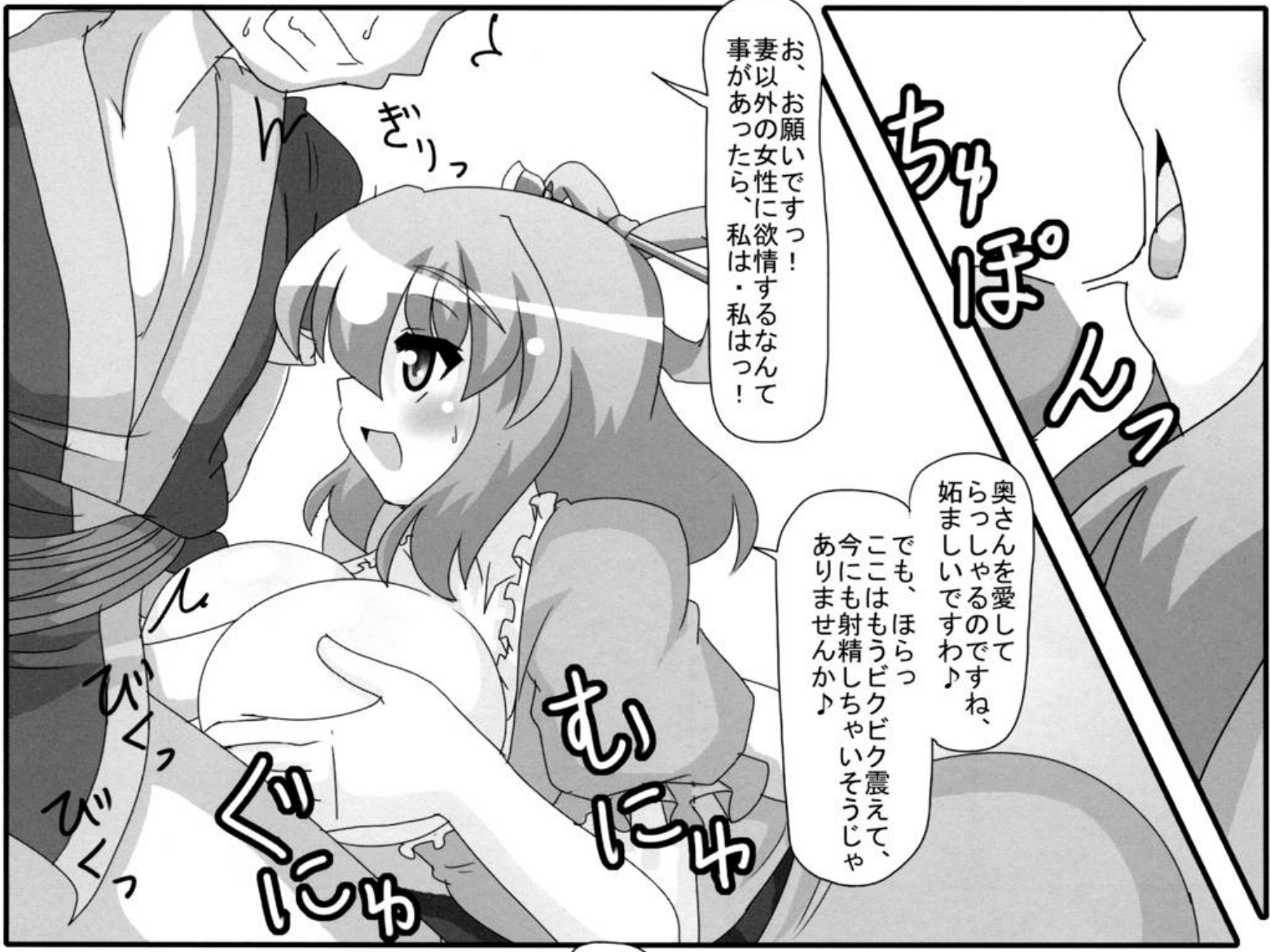
ちゅぽっ

ああ・青娥様っ  
どうかお許し・  
お許しくださいっ！  
それ以上は・  
っ



たぶんっ

ぽろっ



お、お願いですっ！  
妻以外の女性に欲情するなんて  
事があったら、私は・私はっ！

ちゅぽんっ

奥さんを愛して  
らっしゃるのですね、  
妬ましいですわ♪

でも、ほらっ  
ここはもうビクビク震えて、  
今にも射精しちやいそうじゃ  
ありませんか♪

むにゅ  
ぐにゅ  
びくっ  
びくっ



ほうら、おっぱいで  
限界まで締めつけて  
あげますから、  
いっばい精液、  
出してくださいましっ

ああっ！  
すごい乳圧が・・・

お願いです！  
どうか、どうか・・・  
あっ・・・ああっ！

きゅ  
きゅ  
びくっ  
びくっ  
びくっ  
びくっ  
びくっ  
びくっ







まったく、一度  
射精した程度で  
浮気だなんて、  
生真面目も  
いいとこですわ

このまま続けても  
良いのですが、  
私一人だけが  
楽しむなんて  
したくありません

ズツ



あら、貴方・・・  
泣いていらっしやるの  
ですか？



奥様以外の女性の奉仕で  
射精したことがそんなに辛いなんて、  
ご家族を裏切ったと  
思っているのですか？

ううん...  
ごめん...  
ごめんよ...



あう...  
...  
がっ



貴方も一緒に  
お楽しみいただける  
ように

私が楽しんで  
差し上げましょうっ



そのお札で  
貴方の性欲と肉体能力を  
限界まで高めました



うふ♪流石私のお札は  
効果抜群ね

あああああ  
あああああ



正常な判断能力は全て  
失われ・もはや貴方は  
目の前の女を犯すしか能のない  
お人形さん♪

か  
か  
か



私に  
思うが、

「愛している」??  
「大事な家族」??  
そんな陳腐な言葉で、  
夫婦愛というものは  
築いていける  
ものなのかしら

愛というものは、  
言葉や気持ちではなく、  
身体を重ねあうことで  
互いに貪りあうもの  
だと思えますの

ぎし

私にはそんな言葉  
必要ありませんわ  
・さあ







あんっ、ああんっあんっ  
あっ、ああんっ!

もっと  
激しくう・んっ

あふっ  
あっあんっ

ぽんっ

ぽんっ

ぽんっ



あんっあつ  
素敵ですわっ  
思った通り  
貴方の突き上げ、  
すごく激しくて  
興奮しちゃいます♪

ぽんっ

ぽんっ

ぽんっ  
ぽんっ



もっとっ、もっと  
激しく動いて  
下さいましっ







いくら愛していると  
叫んだところで、  
その愛が真実だと、  
誰が保証して  
くれるのかしら？



くつつつ  
だらしないわね

愛なんて、所詮  
伝わらなかつたら  
意味なんてないのに



妻が愛情なんかより  
大事にしているものが  
あったとしても、  
妻が夫の愛情など  
歯牙にもかけない  
女だったとしても、

貴方はそれでも  
妻を愛せるというの？  
自分の愛が  
妻に通じるはずだと  
信じれるのかしら？

ぼんっ  
ぼんっ  
ぼんっ





それが・愛を伝えられる  
唯一の手段っ・あっ

あもっ♡  
イッ♡♡



片時も離れず・あんっ  
互いの体をつ貪りあう・





ふん、どこがだよあんな男、  
毎日稼ぎも少なくせに  
フラフラと自分の手料理  
あちこちに持ってまわって・・・  
迷惑この上ないよ

そんなに料理が好きなら、  
堅実に稼いで  
あたしらにもっと  
良い飯食べさせてほしいね



ああそう・・・ここにも  
来ていないんだね・・・

はい・・・お力になれずに  
申し訳ありません

心中お察ししますわ、  
愛しいご主人が急に  
失踪なさるなんて・・・  
さぞお辛いでしょう



アッ

・・・と、このように  
奥様はおっしゃって  
おりましたよ？



あいつは家族なんかより  
自分のことが大事なのさ

あんたはあんな男に  
手をだしちやいやいけ  
はあ・・・あたしも結婚  
やり直したいよ

・・・はい・・・



ねえ  
ご主人



あんたは  
結婚しないのかい？

あー！いん  
んうはちん！





うふふふ♪  
流石私の見込んだ方

傀儡キョウシになっても  
素敵ですわ♪

結局、貴方は  
最後の最後まで奥様を  
愛されておりましたが、

貴方の愛は  
本物だったのでしょうか？  
それともただの飾りだったの  
でしょうか？

まあどのみち、貴方も  
奥様には愛されなかった  
のでしょうか？

彼女にはそれが  
伝わっていませんわね  
よかったですね



でも

私なら貴方の側にいて、  
無償の愛を永遠に与えることが  
できますわ♪

はああり・・・  
私の修行の成果と秘術、  
多くの人々に披露できるのが  
楽しみですわ



愛してますわ。  
あ・な・た♪



求聞口授の一文「大切なものはゴムに・・・」  
を見て描かずにいられませんでしたw





描いた人: マア





はじめまして、こんにちは。  
妄想族の巣窟の、ちゃらむ〜と申します。

まず、今回の新刊ですが、正直なところ、モチベーションが低いまま作業を  
続けてしまった感があります orz  
なかなかモンハンから抜け出せなかったのは痛いです・・・。  
自身の怠慢こそが、原稿の一番の敵ですね。

今回は青娥本となりました。  
一応、彼女が家を出てから神子たちと出会う間のストーリーのつもりで  
描きましたが、あまり深くは考えていません。  
ただ、彼女はどんな気持ちで家族や旦那を欺いたのかなーと考えてたら、、、  
どうしてこうなった。  
私自身、どちらかというと中身の薄い、気楽に読める漫画のほうが好きなので  
テーマやストーリーを考えながら漫画を描くのは苦手です。

この漫画を描いた直後に求聞口授を読みました。  
いろんな人間に寄ってきてはすぐに飽きて去っているようなので、  
暇を持て余しては人里の男をとっかえひっかえしているビ●チな娘々漫画に  
しておけばよかったかなーと少し思ったり。  
いいよねビ●チ！（お

次回の新刊ですが、まだ未定です。  
すっかり青娥娘々も好きになってしまったので、今回のリベンジでもよいですし、  
また幽香本描くかもしれないし。  
もしくはいいかげん小町やゆゆ様もじっくり描きたいです。  
夏コミか、紅樓夢の参加になります。

最後に、今回ゲスト絵をマカロニ and チーズさんとメアーさんに  
描いていただきました。  
二人とも、幽香黒下着合同誌でも描いてくださった方ですが、今回もえっちな娘々を  
ありがとうございます！

では〜

## 封腐愛

発行：妄想族の巣窟

発行者：ちゃらむ〜

発行日：2012.5.27

印刷所：(有)ねこのしっぽ様

URL：<http://tyaramu.blog78.fc2.com/>（妄想族の巣窟）

ID=16443（pixiv）

原作：上海アリス幻楽団様

禁止事項：

- ・18歳未満者による購入、所持、観覧
- ・無断転載、複製、アップロード

# 妄想族の巣窟

2012. 5

